

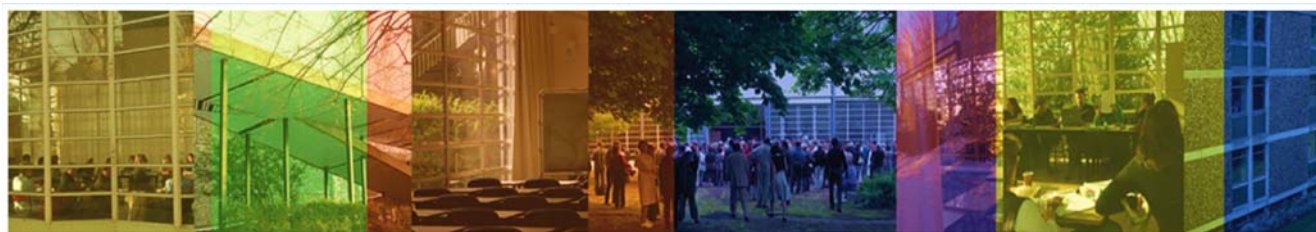


初等・中等教育における インクルーシブ教育システムの 現行の政策と課題

INS HEA
フランス国立特別支援教育高等研究所

INSTITUT NATIONAL SUPÉRIEUR DE FORMATION ET DE RECHERCHE
POUR L'ÉDUCATION DES JEUNES HANDICAPÉS ET LES ENSEIGNEMENTS ADAPTÉS
(若年障害者の教育と適応教育のための研修と研究に関する国立高等研究機関)

フランス



序論

長い歴史的変遷: 分離からインクルージョンへ

長い歴史的変遷： 分離からインクルージョンへ

- 健常者で無い子どものための収容施設の創設
- 特殊教育の発展
- 分離から統合へ
 - 1975年6月30日の法律第75-534号
 - HANDISCOL計画（1999年）
- 統合からインクルージョンへ
 - 2005年2月11日の法律第2005-102号
 - 国連障害者権利条約（2010年批准）
 - 2013年7月の法律第2013-595号



障害者の権利と機会の平等、参加、市民権に関する 2005年2月11日の法律第2005-102号

- 障害の社会的モデル
- 2本柱の原則：
 - 「アクセシビリティ」：誰もがすべてを利用できること
 - 「補償」：平等の権利と機会を回復する個々の施策
- 行政手続きの簡素化（窓口の一本化：MDPH※）
- 教育：自宅に最も近い公立学校に入学する権利

※MDPH：県障害者センター



教育に関するアクセシビリティと補償

- 多様な教育の場の選択
 - マルチトラック・アプローチ
- 教室における同伴：
 - 教育支援員
 - SESSAD(特殊教育サービスと在宅ケアサービス)
 - 連絡担当教員※
- 学習目標の個別化
- 障害やニーズに合わせた教材
- テストや入試における配慮



- ※MDPHと連携して、保護者と関わりながら、それぞれの子ども個別就学計画立案や更新を行うチームをコーディネートする役割を担う教員職



I. インクルーシブ教育 システム構築に向けた 現行の政策・施策



特殊教育ニーズに対する 評価体系の改善

- PPS: 個別就学計画
- GEVA-Sco: 学校での児童生徒の補償ニーズを評価するためのツール
- PAP: 個別支援計画



インクルーシブ体制の促進

- ULIS改革
- SEGPA改革
- 高等教育への進学支援
- 教育ユニット*の創設
 - 施設外部に設置される教育ユニット
 - 幼稚園・保育園における自閉症などの広汎性発達障害児のための教育ユニットの開設
- 高等教育への進学支援



- ※比較的障害の重たい子どもの教育の場。厚生省系の教育機関が通常教育課程に基づいた教育を提供する場として施設内に設置し、教育省の教員がPPSに基づいて授業を行う。このユニットを通常学校内に設置することで当該教育機関に在籍する子どもが通常学校で授業を受けることができる。



II. フランスの課題



我が国の課題

- 障害および学校に関する社会的表象
- フランス教育システムの硬直性と複雑性: 公教育と医療福祉系教育
- リソースの欠如
- インクルーシブ教育の質をどのように評価するのか





III. インクルーシブ教育システム構築に必要な施策



これまで以上に効果的なインクルーシブ教育システムの開発方法とは

- ユニバーサルアクセス
- 研修：一般の小中高等学校教員、特殊教育教員、学校生活支援員に向けて
- 全てのステークホルダーの協力

